

# 質量分析によるタンパク質の同定解析 サービスのご案内(所内限定)



## サービス内容

### MALDI-TOF/MSによるタンパク質の同定(PMF解析)

(本サービスは、少数のサンプル数の受け入れを想定しております。また現時点では、未修飾タンパク質の同定に限らせていただきます\*<sup>3</sup>)

## サービスの流れ

サンプル提供 (ゲル片) → in gel digestion



サンプル提供 (溶液等) → 質量分析測定



Peptide Mass FingerPrinting(PMF)によるタンパク質同定\*<sup>7</sup>

電気泳動後の目的スポット  
またはバンドのゲルを提供  
いただくか、目的タンパク質  
の消化ペプチドを提供いた  
だき、MS解析致します。



## 以下ご注意ください

- \*1 サービス料金は未定のため、当面は実費のご負担をお願い致します。
- \*2 網羅的解析等の多数サンプルの同定については、各ユーザーにて解析をお願い致します。
- \*3 修飾タンパク質についても、スペクトルをお取りすることはできますが、修飾解析については、各ユーザーで行って下さい。翻訳後修飾解析サービスについては現在準備中です。
- \*4 複数の成分が重なっている場合には、解析できない可能性が高くなります。
- \*5 塩、界面活性剤、その他イオン化阻害剤などの影響で質量ピークが観測できず解析できない場合があります。
- \*6 質量ピークが確認されたけれどもデータベース検索(PMF)で同定できない場合があります。
- \*7 MS/MS解析に関してはご相談下さい。

## 必要試料量

1. 最低でも100fmol以上の精製タンパク質が必要で、1pmol以上ですと、同定成功率が高くなります。また、電気泳動ゲルの場合はスポット・バンドが、CBB染色で染まり、銀染色で高コントラストに染まる程度の試料を用いると同定成功率が高くなります。
2. ケラチンの混入には十分ご注意ください。
3. 銀染色の場合、グルタルアルデヒドを使用しない方法を採用して下さい。

問い合わせ先  
遺伝子実験系  
担当 田井 (内線5995)